

電動丸 600H

取扱説明書

このたびは、シマノ電動丸600Hをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。


ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

特長	2	高切れの補正	26
デジタルカウンターの各部の名称	3	船べり自動停止について / A-RB (アンチラストベアリング) について	27
速巻きスイッチについて	4	楽楽モード	28
各部の名称	5	お取り扱い上の注意	30
電源とコードについて	6	セーフティ機能・仕様	32
学習方法	7	製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内	33
学習方法 (全体の流れについて)	8	故障かな?と思われたときは	34
学習方法 1.メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合 (学習モード)	10	安全上のご注意・サービスネット	35
学習方法 2.ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合 (学習モード)	12		
学習方法 3.シマノ・デュラPE船4号200mを巻かれる場合 (指定モード)	14		
学習方法 4.PEライン3号200mを巻かれる場合 (下巻モード)	16		
学習方法 5.それ以外の組み合わせを巻かれる場合 (下巻モード)	16		
手順について	20		
色々なテクニック	22		
0 (ゼロ) セットの設定	24		

特長



更なるスプールフリーを実現...

A-RB (アンチラストベアリング)。  P27参照
「表面改質」により、高耐蝕性金属を表面に高密度に密集させ、安定した「不動態層」が表面を確実にガードし、サビに強いA-RB (アンチラストベアリング) がスピールの両端に入ることにより更なるスプールフリーが実現!



巻き上げ速度が変化する...

楽楽モード  P28 ~ 29参照



巻き上げフィーリング抜群の...
スーパー ストッパーII




このクラストップレベルの...
軽量コンパクト化を実現。




さらに磨きのかかった...
ハイスピード & ハイパワーを装備。




速巻きスイッチ採用・スピーディーに巻き上げる...
カラ巻きHiスピード。  P4/23参照
シカケのカラ巻きを高速で行ない、手返しやポイントの移動などで威力を発揮します。




より正確に何回でも狙った水深にシカケを落とす...
0 (ゼロ) セット。  P24 ~ 25参照
シカケが水面にあるときを0メートルとして設定できますから、狙った水深に、より正確にシカケを投入できます。




竿を立てたときにシカケが手元に戻ってくる...
船べり自動停止。  P27参照
船べり停止位置が自動的に設定されますから、船べり停止後、竿を立てるだけでシカケが手元に戻ります。




高切れをワンタッチで修正する...
高切れ補正。  P26参照
高切れした場合は、再度シカケを結びシカケを水面に合わせて0セットスイッチを押してください。カウンターが修正されます。



プログラマ不要の新SLS方式...
SLS II (シマノ・ラインプログラム・システム2) **搭載。**
より正確な棚取りが可能です。  P8 ~ 19参照



レバー操作で巻き上げ速度と楽楽設定値をらくらく調整...
コントロールレバー。  P28 ~ 29参照
好みに応じて15段階の調整ができます。

デジタルカウンター各部の名称

現在の水深

水面からの水深を表示します。

水深は10cm単位です。(100m以上は右図のように1m単位になります。)

99.9 → 100

楽楽モードの設定値

巻き上げの力(糸のテンション)を数字で表示しています。(数字=kgではありません。)

現在の電動巻き上げスピードを表示します。

0(ゼロ)セット/速巻きスイッチ

電動巻上中ワンタッチ
メインスイッチを押してから、このボタンを押すと電動リールが最高速で巻き上がります。シカケの回収等に便利です。

3秒以上
0セットします。シカケを水面に合わせて0セットしてください。

モードスイッチ

先の細いものでワンタッチ
押すごとに学習・指定・下巻・標準の順でモードが切り替わります。

自動糸送り機能

シカケをおろす時船べり位置より5m以上で自動的にモーターが回りスプールが糸の出る方向に回転しやすくなります。機能がオフの時は「糸送止」が点灯します。

コントロールレバー

ワンタッチ
楽楽モードのテンションの設定を行います。(15段階)

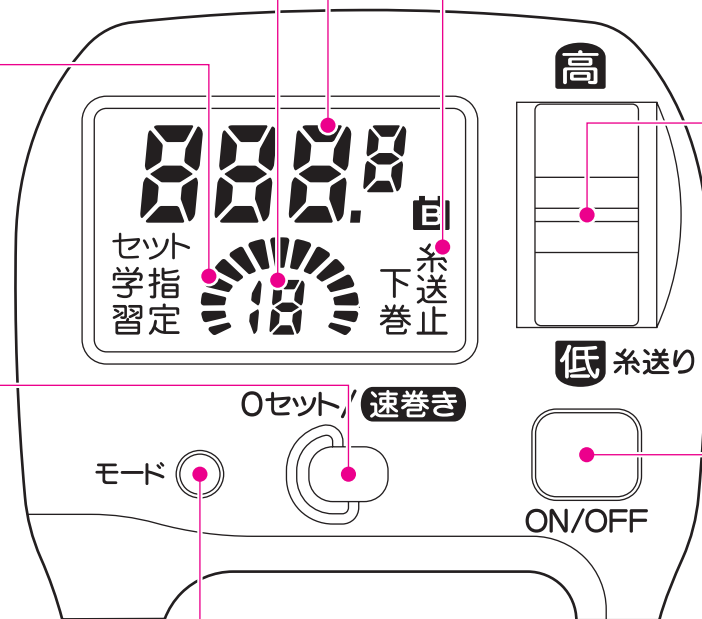
低の方に3秒以上
電動巻き上げがオフの状態です。「低」の方向に押し続けると、糸送りのオン・オフの切り替えをします。

メインスイッチ

電動巻き上げのオン・オフスイッチ。船べり停止後は押し続けている時のみ電動巻き上げになります。

各種表示

学習・下巻・指定：各モード時に点灯します。
0セット：0セット受け付け時に点灯します。
B：バッテリーが不足したときに点灯します。



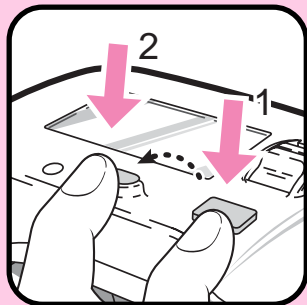
図は説明のために液晶を全部点灯させています。

速巻きスイッチについて

速巻きスイッチ

高速で一気に巻き上げることが可能です。

メインスイッチを押し、電動巻き上げ開始後速巻きスイッチを押しますと、一気に高速で巻き上げます。



シカケの回収が高速で行え、手返しやポイントの移動などで威力を発揮します。

本文の説明中に次のようなマークが出てきた場合は...

指し示されたボタンを **3秒未満** 押してください。



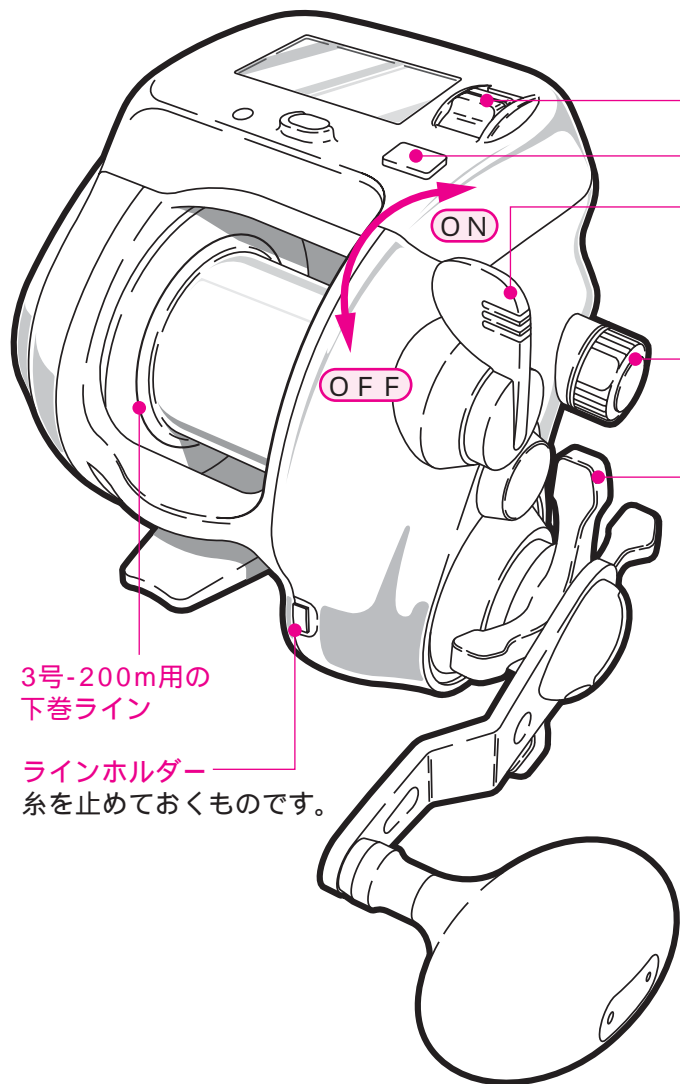
ワンタッチ

指し示されたボタンを **3秒以上** 押してください。



3秒以上

各部の名称



コントロールレバー

メインスイッチ

クラッチ

ハンドル正転または手で戻すとONになります。

ON : シカケの巻き上げ

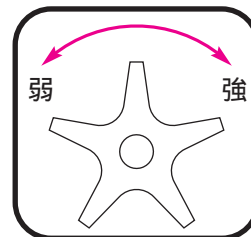
OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

スプールコントロールツマミ

スピールの回転にブレーキをかけてシカケをおろす時のバックラッシュを防止します。

スタードラグ

魚が強く引いた時、
ハリス切れをおこさないように
糸を送り出す力を調整します。



デジタルカウンター

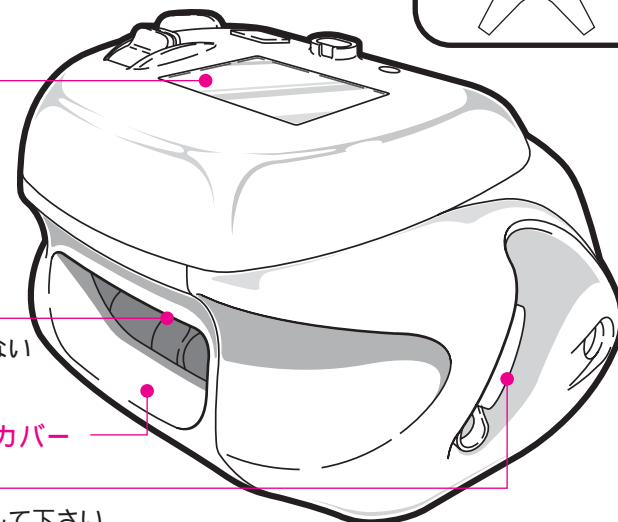
DDL (ダイレクト
ドライブレベルwind)

電動巻き上げ時に指をはさまない
よう注意してください。

セーフティレベルwindカバー

電源コネクター

使用時は防水キャップを外して下さい。



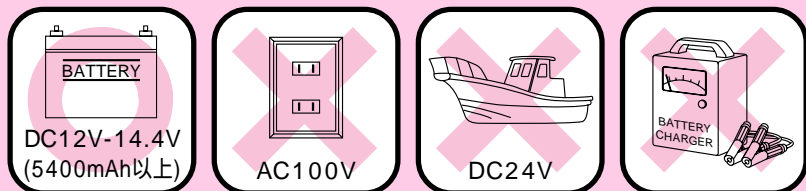
電源とコードについて

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は直流（DC）12Vです。公称電圧が12Vから14.4V（リチウムイオンバッテリーなど）までのものをご使用下さい。指定外の電源（たとえば家庭用の交流100V、船装備の直流24Vなど）ではご使用できません。

バッテリーチャージャーなどは絶対に使わないで下さい。



船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流（DC）12Vから14.4Vであることをご確認ください。（船のバッテリーをご使用になる場合は、12Vを直接とるのではなく、DC-DCコンバータにより24Vから12Vに変換されたものに限ります。）また、端子がサビているとリールが正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。十分に充電したバッテリーをご使用ください。

釣行後、バッテリーは長持ちさせるためすぐに充電してから保管してください。そして再度、釣行前に充電してご使用ください。

バッテリーは長期間使用されますと、次第に、充電できる容量が少なくなります。その場合は、バッテリーのみ新しいものをお求めください。

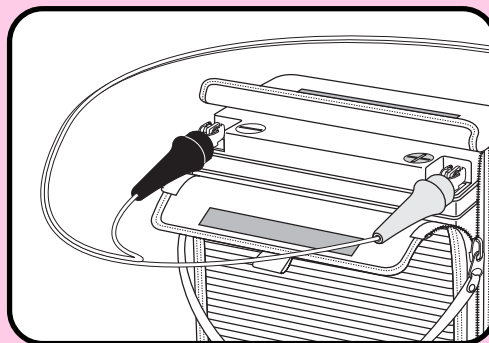
コードについて

電源との接続は、必ず付属のシマノ純正電源コードを用いてください。

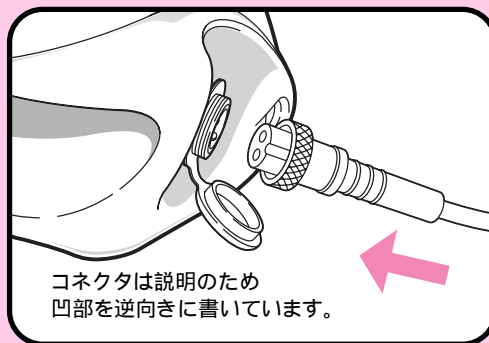
ご注意：純正以外のコードを使用されると、リールが正常に作動しない場合があります。また、電源コードは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。

2 バッテリーとの接続方法

- 1 バッテリーに付属の電源コードを接続してください。下図のように、赤クリップを（+）側に、黒クリップを（-）側に、つないでください。



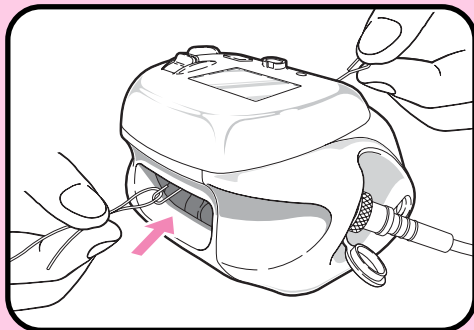
- 2 それから、リールと電源コードを接続します。電源コードのプラグの凹部と、リールの電源のコネクターの凸部を合わせ、奥まで差し込んで、ネジを締めてください。



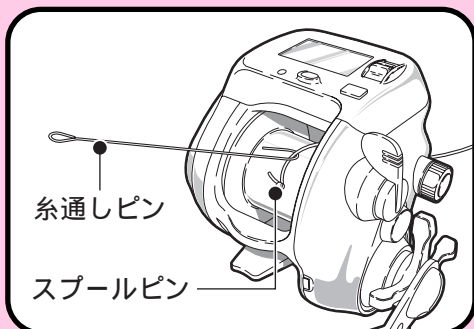
学習方法

糸をセットします。

- 1** 糸をレベルウィンドに通します。
糸を通すときは、付属の糸通しピンを使用することをおすすめします。



- 2** スプールピンに糸を結んでください。

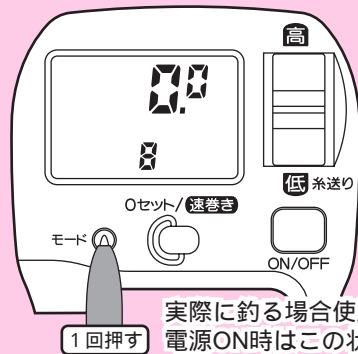


モードスイッチについて。

モードスイッチは1回押すごとに下記のように切り替わります。
使用する糸の種類に合ったモードを選択します。(次ページからの説明を参照)

電源をつないでないとこの操作は行えません。

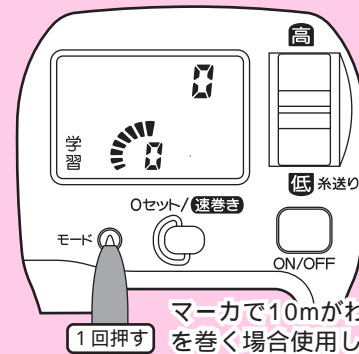
電動標準モード



1回押す

実際に釣る場合使用します。
電源ON時はこの状態です。

学習モード

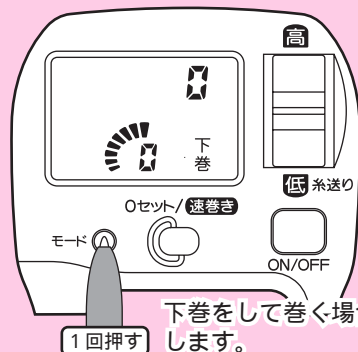


1回押す

マーカで10mがわかる糸を巻く場合使用します。

標準モードに戻ります。

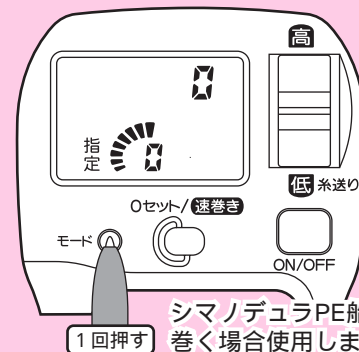
下巻モード



1回押す

下巻をして巻く場合使用します。

指定モード



1回押す

シマノデュラPE船4号を巻く場合使用します。

学習方法 (全体の流れについて)

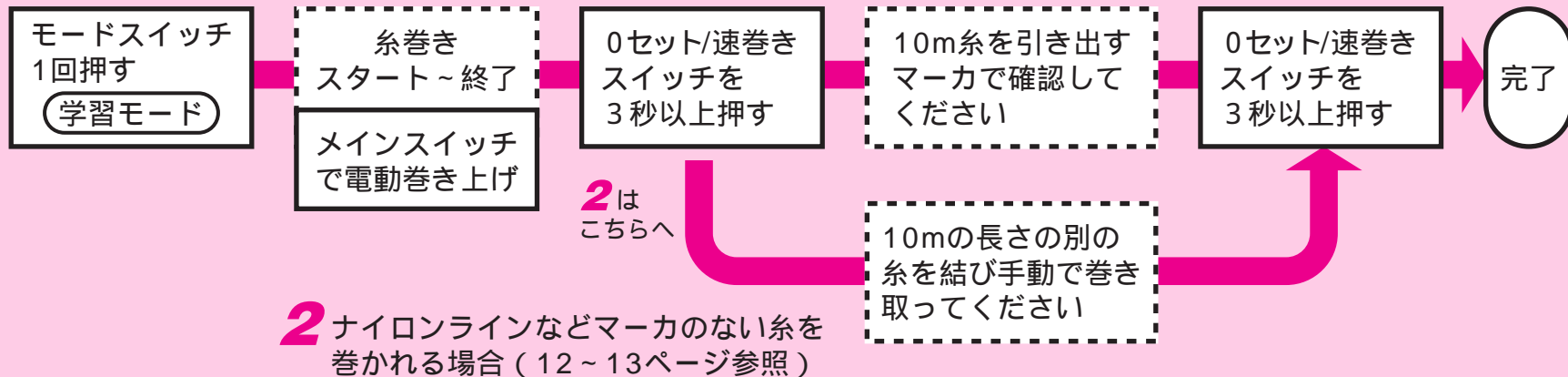


糸を巻く前にどのようにするのか、全体の流れをつかんでください。
大きくは下図の**1**～**5**までの5通りの学習方法があります。より詳しい説明はそれぞれのページを参照してください。

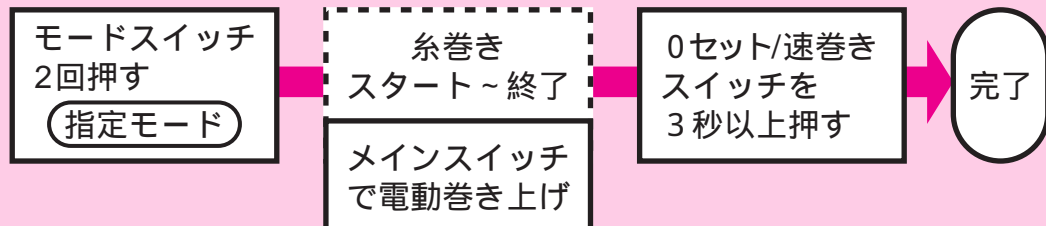
電源をつないでいないとこの操作は行えません。

下巻なしでフルに巻くなら...

1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合 (10～11ページ参照)



3 シマノ・デュラPE船4号200mを巻かれる場合 (14～15ページ参照)

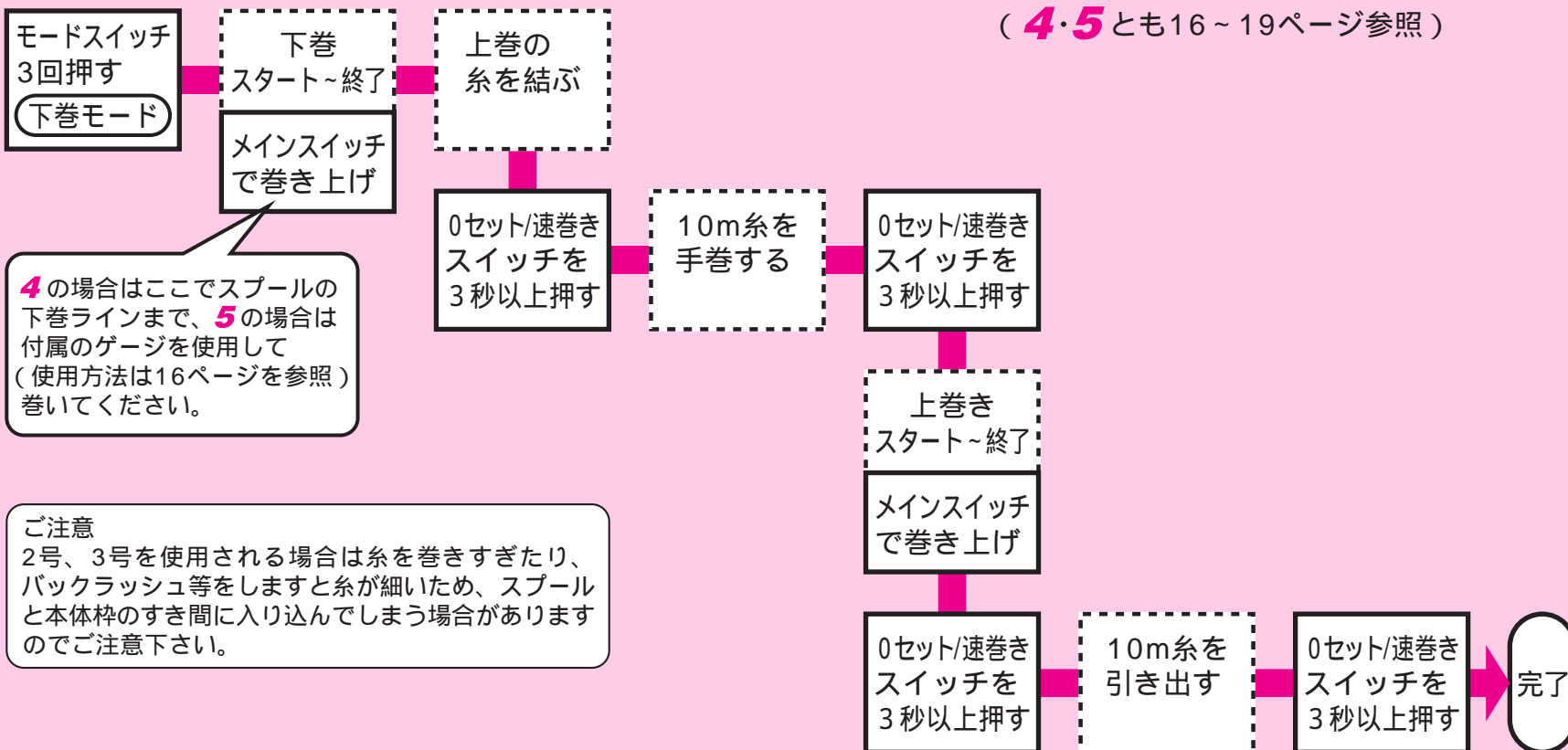


下巻をして巻くなら...

4 PEライン3号200mを巻かれる場合：スプールの下巻ラインを使用

5 それ以外の組み合わせを巻かれる場合(PEライン2号100m・200m/3号100m)：付属ゲージを使用

(**4・5**とも16～19ページ参照)



4の場合はここでスプールの下巻ラインまで、**5**の場合は付属のゲージを使用して(使用方法は16ページを参照)巻いてください。

ご注意

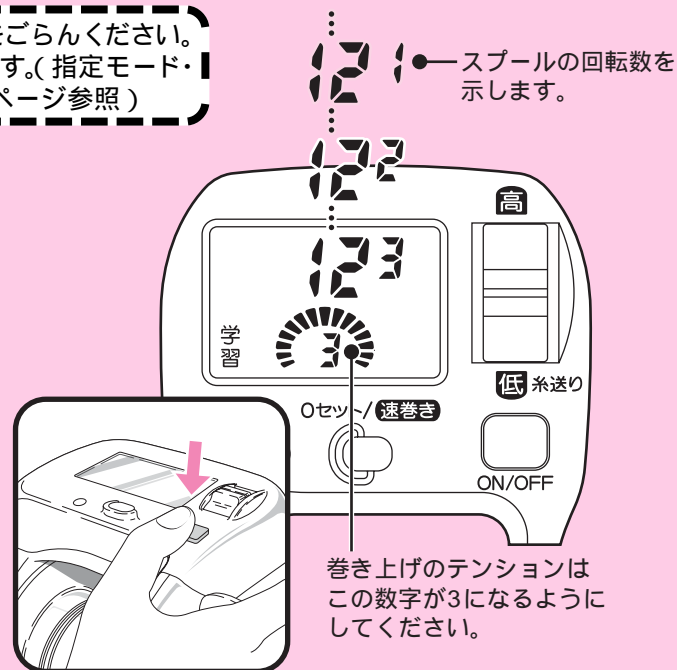
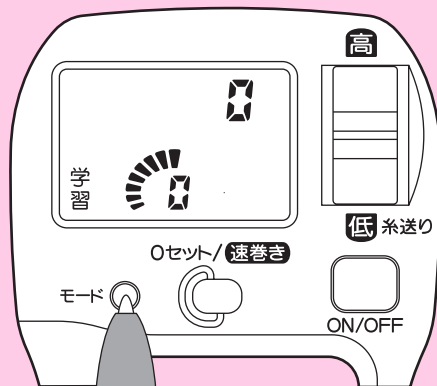
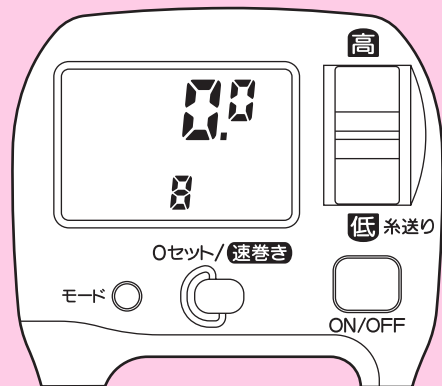
2号、3号を使用される場合は糸を巻きすぎたり、バックラッシュ等をしますと糸が細いため、スプールと本体枠のすき間に入り込んでしまう場合がありますのでご注意ください。

学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)

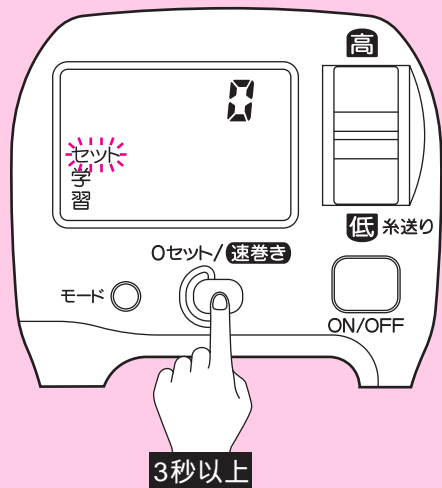
ナイロン糸などメータのマーカのない糸を巻かれる場合は12～13ページをごらんください。
また、デュラPE(新素材)4号を200m巻いたデータはすでにインプット済みです。(指定モード・14～15ページ参照)下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・16～19ページ参照)



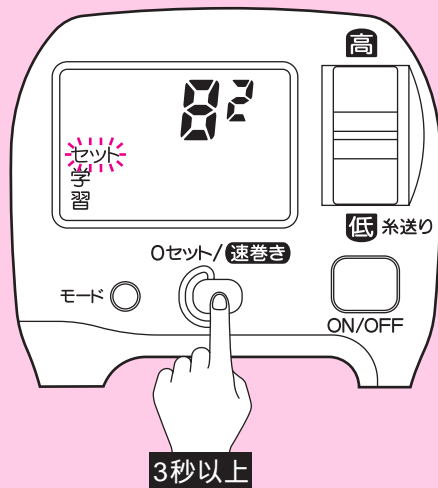
1 クラッチレバーをONにしてください。そして、電源の接続を確認してください。デジタル表示は図のようになります。

2 先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。モードスイッチを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。

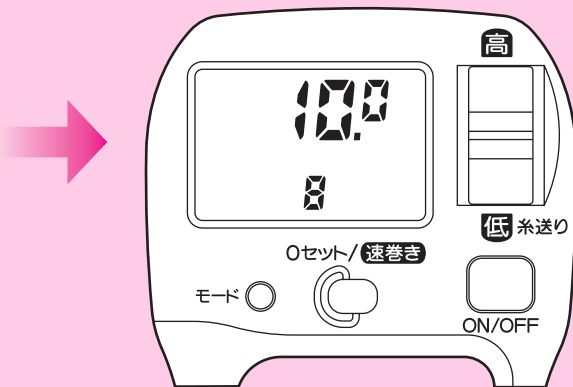
3 メインスイッチを押して糸を巻いてください。回転数が表示されます。巻き上げのテンションは矢印内の数字が3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。また、楽速モード時の数値とも異なります。巻き上げ速度は変速スイッチで調節できます。巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。表示は図のようになり、「セット」が2秒間表示されます。



- 5** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。) 回転数が上段に表示されます。学習を終了するため、0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。

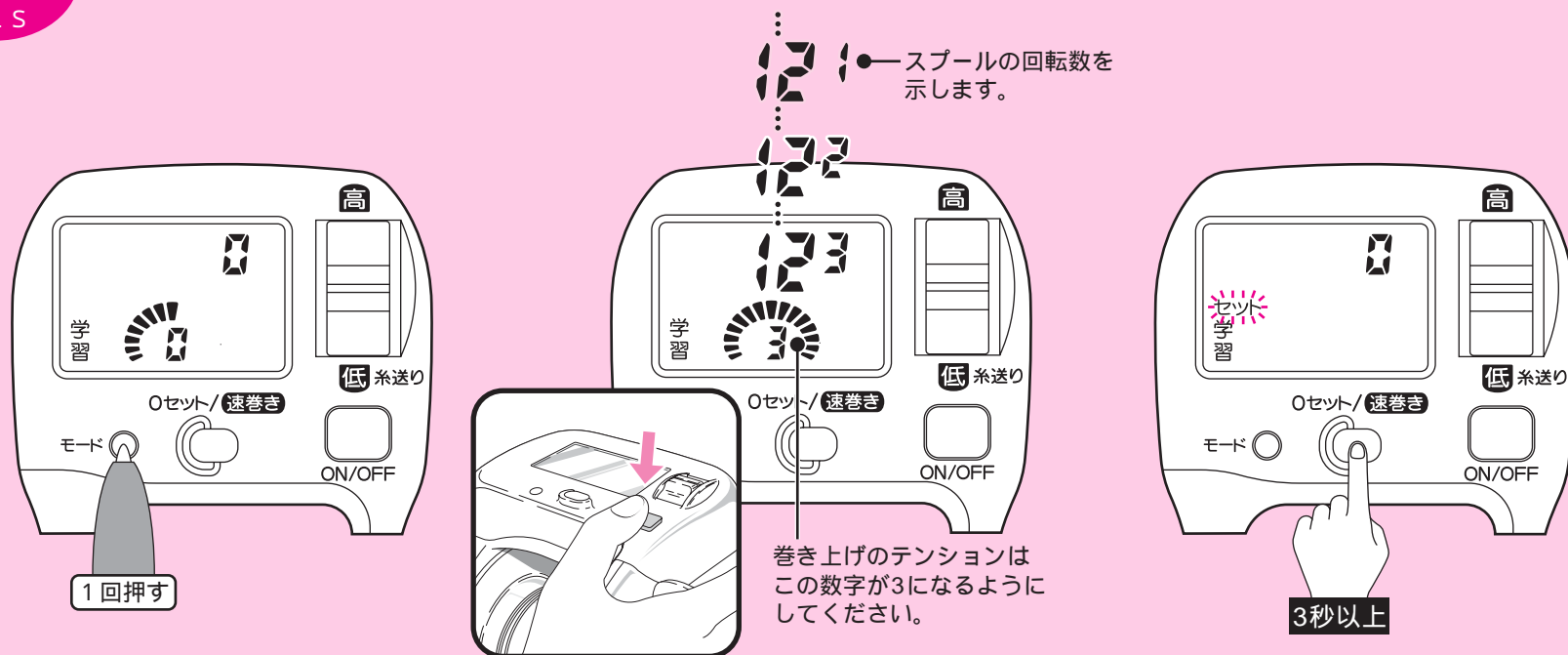


- 6** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



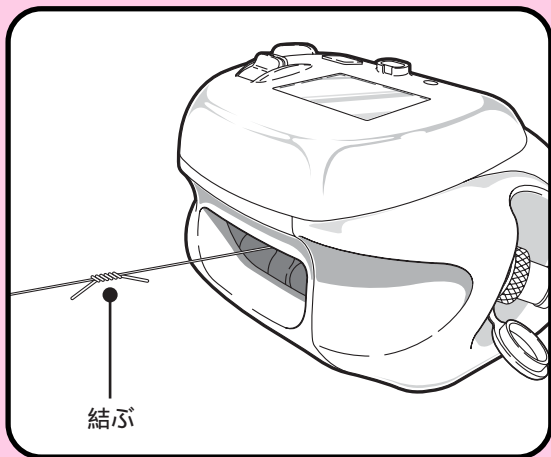
2 ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)



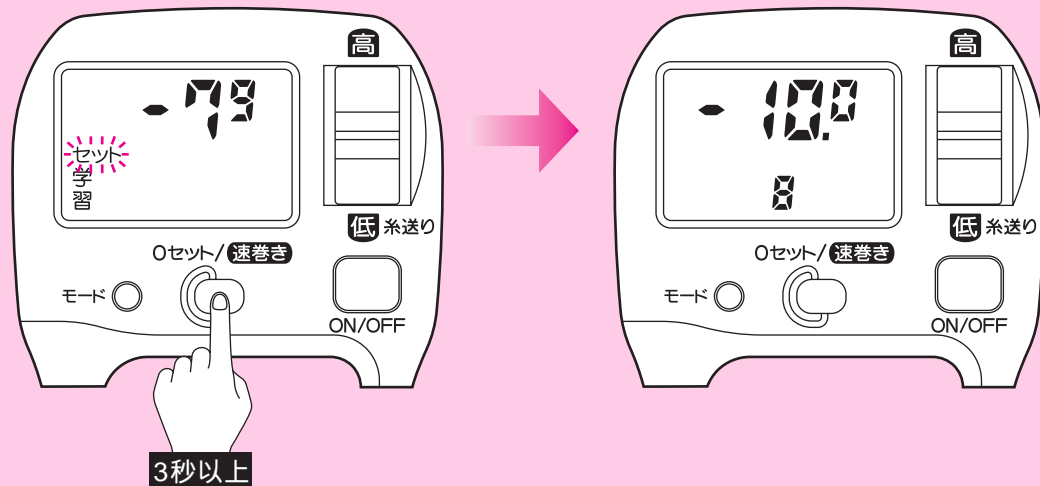
1 クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。
モードスイッチを2回以上押しすぎで指定・下巻・修正モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。

2 メインスイッチを押して糸を巻いてください。
回転数が表示されます。
巻き上げのテンションは矢印内の数字が3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。また、楽速モード時の数値とも異なります。
巻き上げ速度は変速スイッチで調節できます。
巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

3 糸を完全に巻き終えたら、0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。
表示は図のようになり、「セット」が2秒間表示されます。



- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



- 5** 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が上段に表示されます。学習を終了するため、0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。

- 6** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

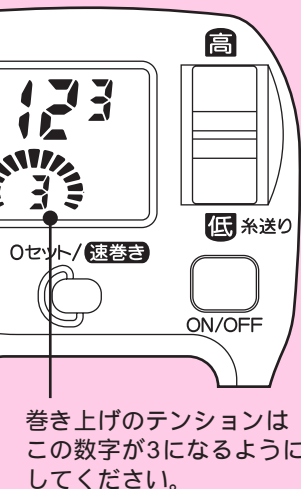
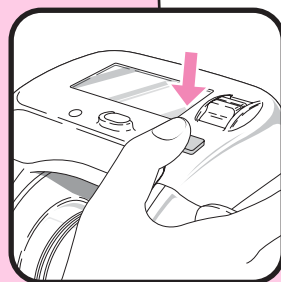
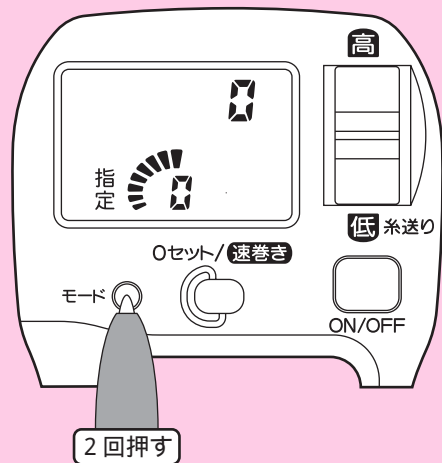
ご注意:ナイロンラインは、巻き上げ繰り返しのテンション変化にて誤差が3%以上生じる可能性があります。

学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)



3 シマノ・デュラPE 4号-200mを巻かれる場合 (指定モードを使用します。)

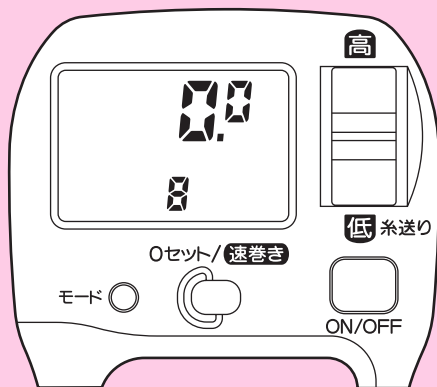
このリールにはデュラPE (新素材) 4号を200m巻いたデータがインプットされています。
この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを2回押してください。
「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。
モードスイッチを2回以上押しすぎて下巻・修正・学習モードになってしまった場合、指定が表示されるまで何回か押してください。

2 これで糸を巻きます。
左下の数字が3になるテンションで、巻いてください。電動巻き上げは200mの手前で自動的にストップします。
残りの糸を手巻きで巻いて下さい。

3 糸を完全に巻き終えたら、学習を終了するため0セット/速巻きスイッチを3秒以上押ししてください。
表示は図のようになり、「セット」が表示されます。
各入力途中でモードスイッチを誤って押ししてしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。もう一度最初からやり直してください。



- 4 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。

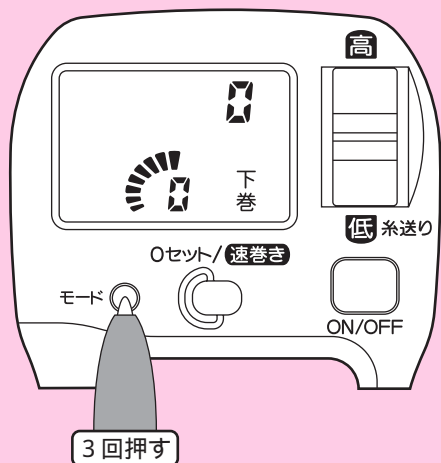
ご注意：他社PE4号-200mを使用される場合カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

学習方法 (下巻を行っての学習も可能です。)



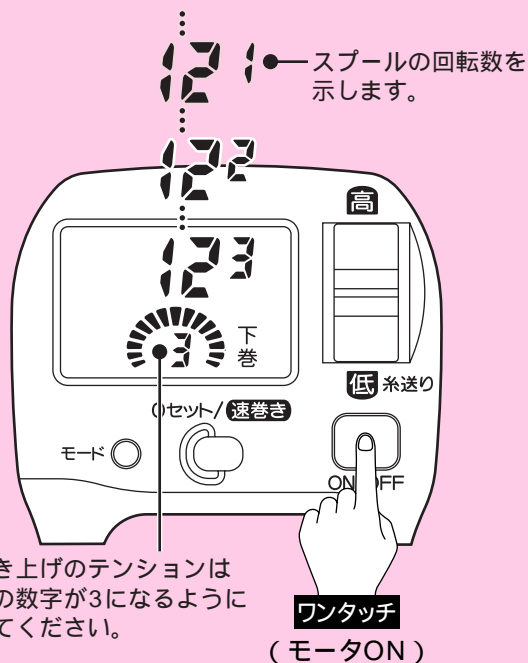
4 PEライン3号200mを巻かれる場合:スプールの下巻ラインを使用(下巻モードを使用します。)

5 それ以外の組み合わせ(PEライン2号100m・200m/3号100m)を巻かれる場合:付属ゲージを使用(下巻モードを使用します。)



3回押す

1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを3回押してください。「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。モードスイッチを3回以上押しすぎて指定・学習モードになってしまった場合、下巻が表示されるまで何回か押してください。



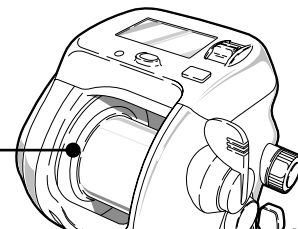
ワンタッチ
(モータON)

巻き上げのテンションはこの数字が3になるようにしてください。

2 右の要領でそれぞれ下巻を行います。メインスイッチを押して糸を巻いてください。上図は高速で下巻している場合の表示です。左下の数字が3になるテンションで巻いてください。

4 の場合

スプールの下巻ラインまで下巻します。



5 の場合

号数マークをスプール外周に合わせる

垂直に差し込む

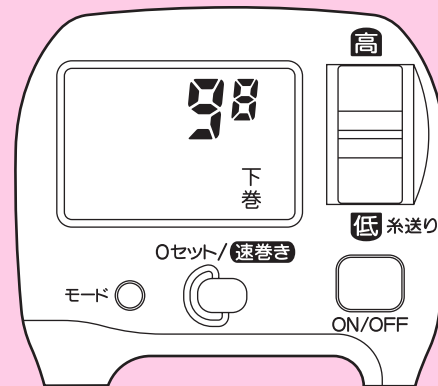
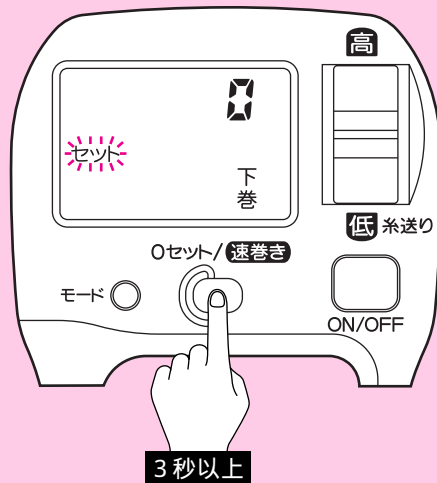


斜線部=下巻の必要な範囲

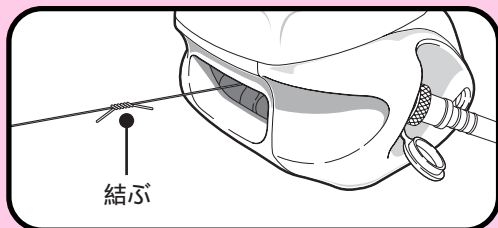
ゲージの使用法

上図のように付属のゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。スプールとゲージの間にできたすき間(図の斜線部)が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 3** 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。



下巻を終えたら、このように下巻に上巻用の糸を結びます。

- 4** 0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。
表示は図のようになり、「セット」が2秒間表示されます。

- 5** 上巻糸を正確に10m分手巻きで巻き取ります。
回転数が上段に表示されます。

次ページにつづく

注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。

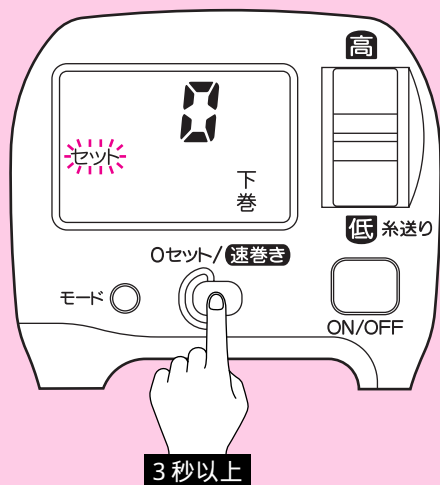


6 0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。
表示は図のようになり、「セット」が2秒間表示されます。

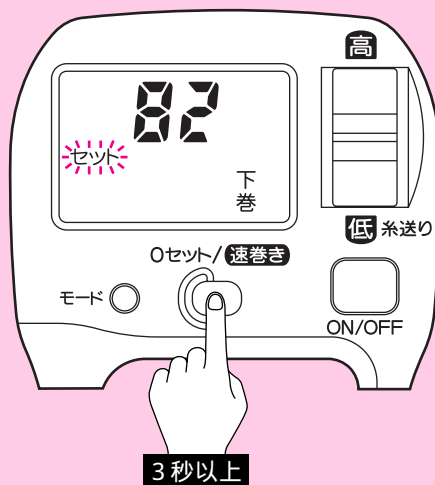
7 上巻糸を学習するため、メインスイッチを押して残りの糸を巻いてください。
左下の数字が3になるテンションで巻いてください。

8 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

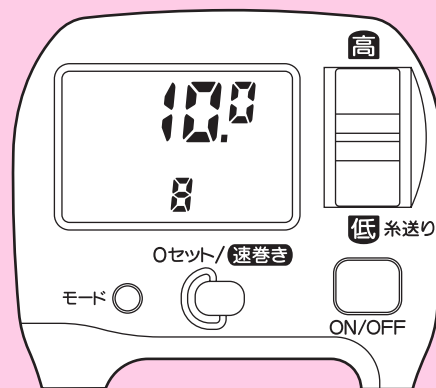
注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。



- 9** 糸を完全に巻き終えたら0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。表示は図のようになり、「セット」が2秒間表示されます。

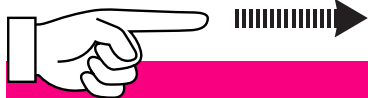


- 10** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)回転数が上段に表示されます。学習を終了するため、0セット/速巻きスイッチを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。上巻分の糸を出してもう一度**4**からやり直してください。



- 11** 表示が標準モードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 12** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

手順について (電動丸600Hを早く、有効に使いこなすためには...)



かんたん手順

これさえ知っていれば
とにかく使えます。



べんり手順

簡単で、とっても
便利です。

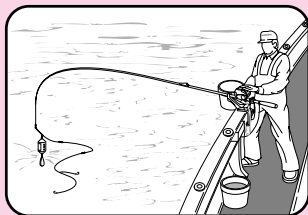


もっともっと べんり手順

知れば知るほどあなたの
釣りの世界が広がります。



0 セット

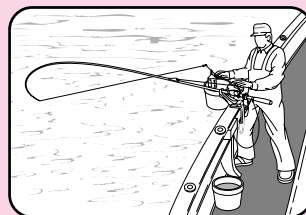


スイッチひとつでシカケが水面にあるとき0mになるよう設定。狙った水深に正確にシカケを投入できます。

くわしくはP24へ!!



船べり自動停止

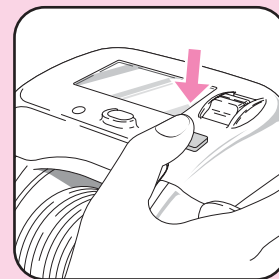


竿を立てるとシカケが手元にビタリともどる、船べり自動停止機能は手返しにダンゼン差がつかます。

くわしくはP27へ!!



電動巻き上げ



エサの付けかえをするときあるいはアタリがあれば、メインスイッチを押すだけで、らくらく巻き上げ。速巻きスイッチを押せば、最高速で巻き上げます。

くわしくはP3～4・23へ!!

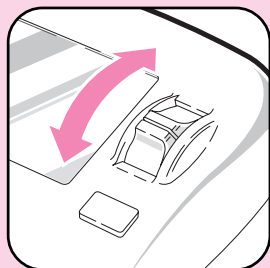


600Hの機能は大きく分けて3タイプ。あなたの釣り方の好みにあわせてお好きな手順をどうぞ。



コントロール
レバー

コントロール レバー



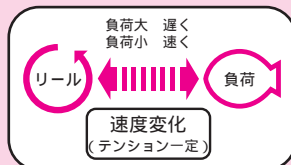
ワンタッチで15段階の
スピードに切り換えられる
から、自由自在のスピード
調整。

くわしくはP3へ!!



楽楽モード

楽楽モード



巻き上げ速度が変化して
引っ張り合いやシカケのゆ
るみを防ぐ「楽楽モード」
で状況に応じた巻き上げが
可能です。

くわしくはP28~29へ!!



色々なテクニック (ここではテクニックの応用を紹介。釣果にダンゼン差をつけるなら必読！)



応用 その1

シカケを速く落とすテクニック。

特にイカを狙うときに有効なテクニックです。

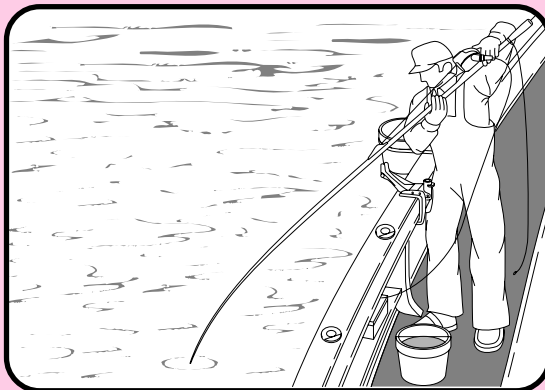
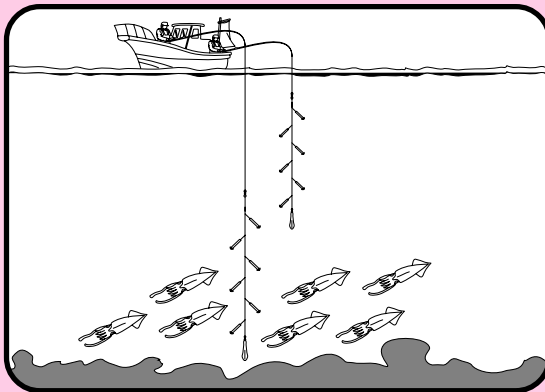
一般的にはスプールコントロールツマミを締め、スプールのフリー回転を少し悪くし、船の上下動による糸のバックラッシュを防ぎます。

しかし、より速くシカケを落とすためにはスプールコントロールツマミを使わずに、自分の指でスプールをサミングしてください。

この他にも次のようなテクニックがあります。

この電動丸600Hには、自動糸送りの機能が付いています。シカケを投入して水深が船べり停止位置+5m以上になったら、自動的にモーターのスイッチがONになります。モーターの回転の反動で、スプールが糸の出る方向に回ります。クラッチをリターンさせると、モーターの回転は自動的にストップします。

竿先を下に向け、竿全体を立てることで、ガイドの抵抗を少なくすることができます。(右図)

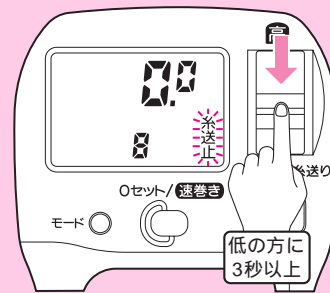


自動糸送り機能を解除する方法

電源を入れたときは自動糸送り機能が作動するようになっています。ガイドの抵抗、バックラッシュなどでこれを解除したいときは下記のような操作をしてください。

モーターが停止した状態で、変速スイッチを低の方に3秒押しっぱなしにします。表示が「糸送止」となり、これで作動しなくなります。

(楽楽モード設定値はもとにもどります。) もう一度作動させたいときは、同様の操作を行ってください。

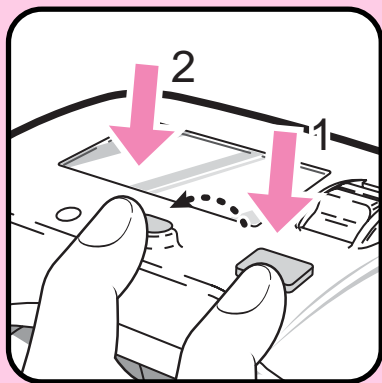




速巻きスイッチで スピーディーにシカケを 回収するテクニック。

手返しの時やポイントの移動時のシカケのカラ卷きを、スピーディーに行なうテクニックです。

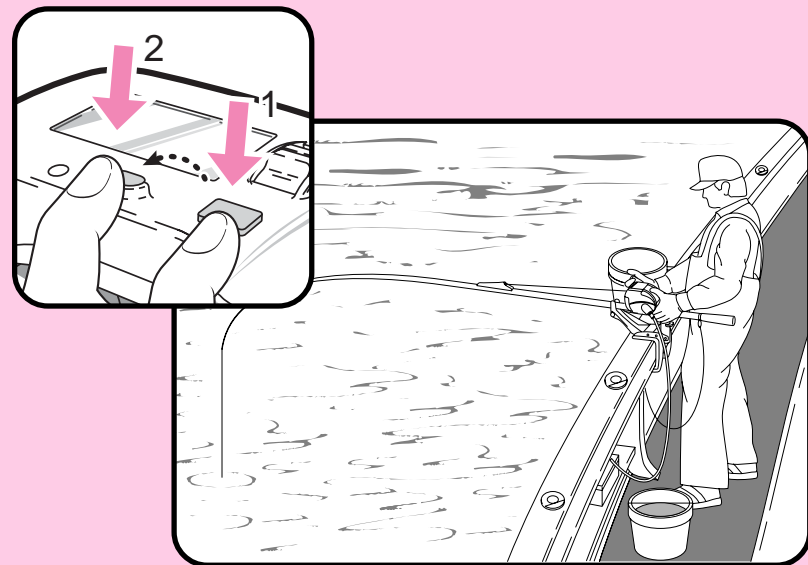
メインスイッチを押し（図の矢印1）電動巻き上げ開始後、速巻きスイッチを押しますと（図の矢印2）一気に高速で巻き上げます。



電動+手動で スピーディーにシカケを 回収するテクニック。

左記の方法に、手動巻き上げを合わせて行うことでスピーディーな巻き上げが可能です。

メインスイッチでモーターONしてから速巻きスイッチで巻き上げ、さらに手動で巻き上げると速く巻けます。
（この時、ロッドキーパーに竿を取り付けたまま行えば楽です。）



0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)



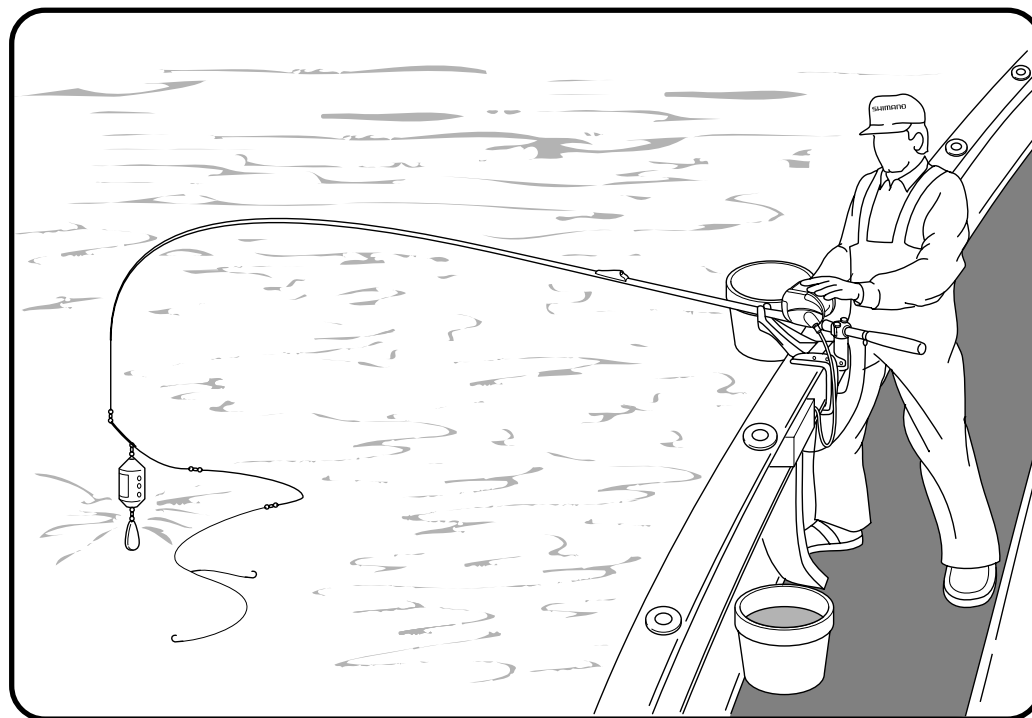
正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な 時を0mとして設定することです。

棚取りが不可欠です。 「0セット」によって、シカケの位置が

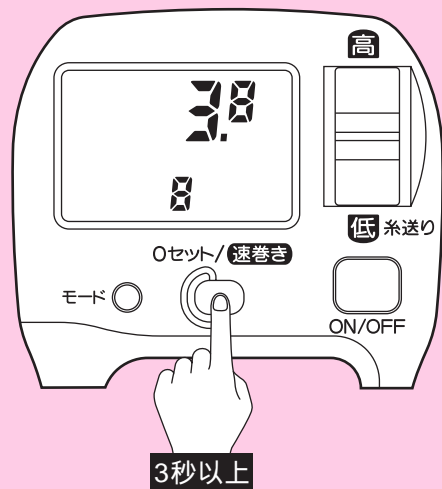
そこで「0セット」を設定します。 水深を示すようになり、正確な棚取りを

「0セット」とは、シカケが水面にある 可能にします。

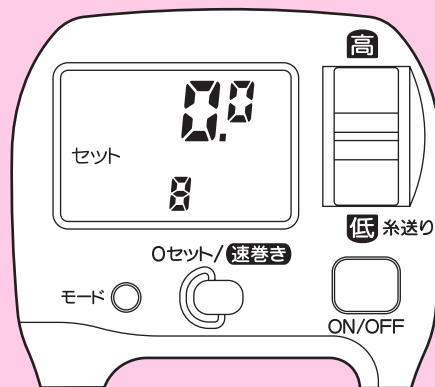


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

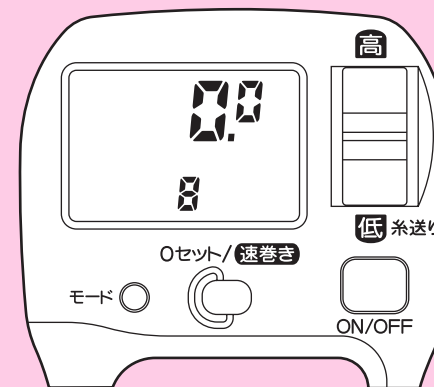
0セットをしてみましょう。



1 シカケを水面に合わせ、0セットスイッチを3秒以上押して下さい。



2 上図のように表示が変わります。

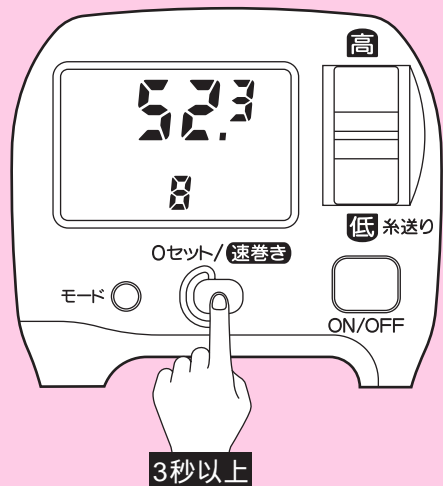


3 セットの表示が消えれば、これで完了です。

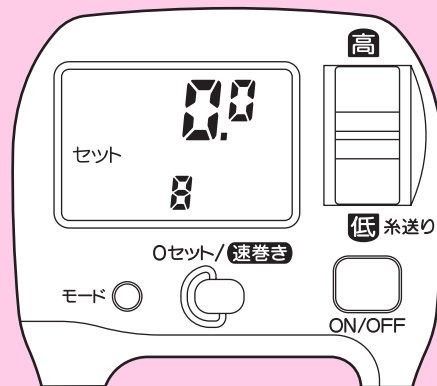
高切れの補正



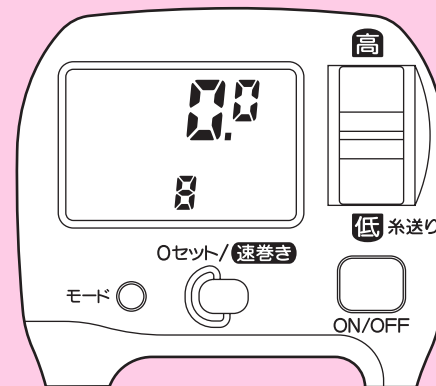
高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。



1 シカケを結びなおし、水面にシカケを合わせて、0セットスイッチを3秒以上押します。



2 上図のように表示が変わります。



3 これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

船べり自動停止について

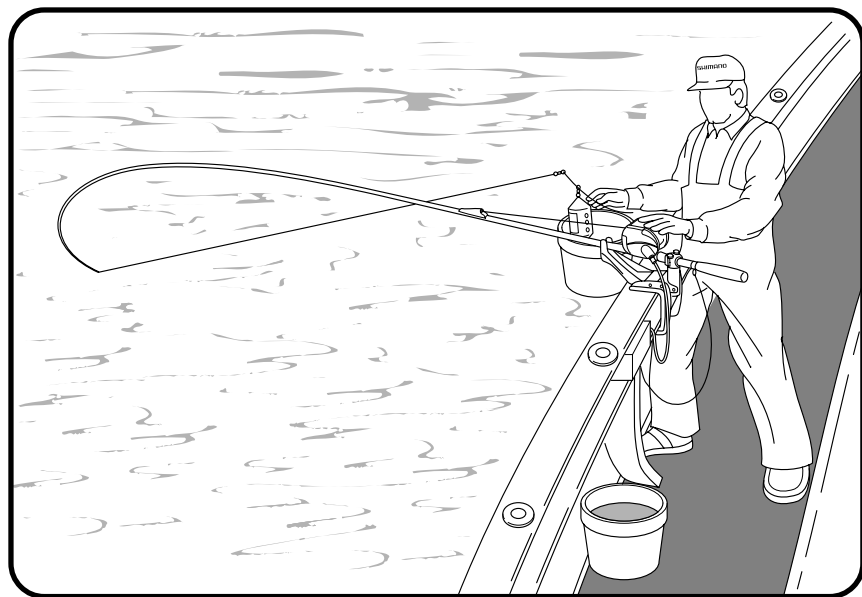


電動巻き上げ停止後、竿を立てればシカケが手元にもどります。

船べり停止後、竿を立てたときにシカケが手元にくるように自動的に設定されます。

電源投入時初回のみ6mで船べり停止します。2回目以降はコンピュータが自動的に判断してシカケは前回取り込んだ位置で停止します。

(この機能は1m～6mの範囲で作動します。水深表示がマイナスの時は、安全のため1mの設定になります。)



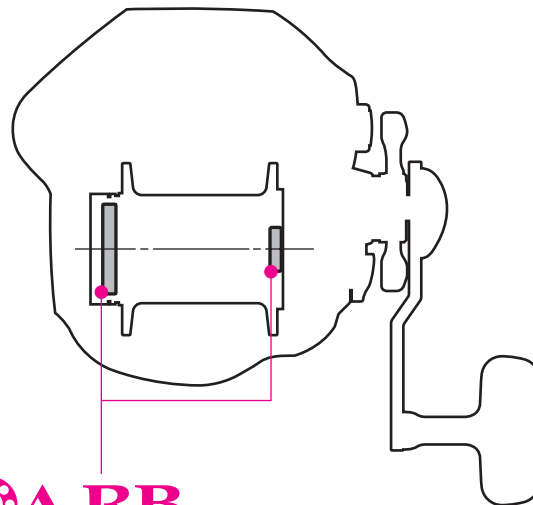
A-RB(アンチラストベアリング)について



A-RB(アンチラストベアリング)でさらなるスプールフリーを実現!

スピールの両端に「表面改質」により、高耐蝕性金属を表面に高密度に密集させ、安定した「不動態層」が表面を確実にガードし、錆びから守るベアリングA-RBが内蔵されたことにより、シカケ落下時のスプールフリーが更に軽くなりました。

それによって電動リールでは困難と言われた完全フカセも攻略。また、完全フカセでよく言われるレベルwind部分での糸ガラミを完全にシャットアウトする、セーフティーバーとレベルwindのベストバランスを実現させました。



 **A-RB**

A-RB (アンチラストベアリング)



楽楽モードとは？

「楽楽モード」は、お客さまが設定したテンションを一定に保とうとする機能です。つまりラインにかかるテンション（負荷）をリールが感知して、モーターの回転速度を自動的に変化させ、魚の引きに応じた巻き上げ方をします。


つまり

モーターと魚の瞬間的な引っ張り合いを避けてくれる。	波が荒くて竿の操作では追いつかないときにも便利。
魚が突っ込んだり船が急に持ち上がったときの急なテンションの上昇に応じてモータースピードが遅くなって調節してくれる。	ポンピングで竿をおろしたときなど急なテンションの降下に応じてモータースピードが速くなってシカケにたるみができない。
これなら楽だし、手巻き感覚で安心です！	

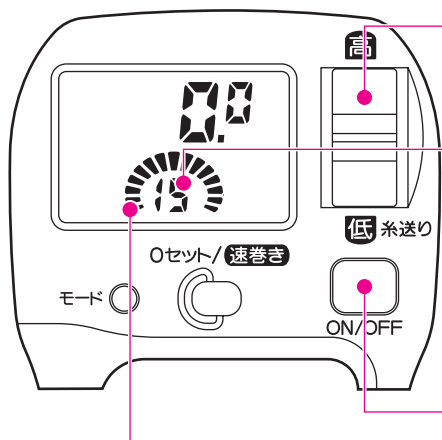
さらにこんなメリットも...

いったん楽楽モードのレベルを設定すれば、あとはメインスイッチのON・OFFを押すだけのワンアクション。

電動と魚の瞬間的な引っ張り合いがなくなることによって、シカケ本来の強度が得られます。（一度1号のハリスを瞬間的に引っ張るとじわっと引っ張るとどちらが強いか試してみてください。）

 その際手袋等をして、ケガのない様ご注意ください。

各スイッチのはたらきと表示について



コントロールレバー
楽楽モードのテンションの設定を行います。

楽楽モードの設定値
巻き上げの力（糸のテンション）を数字で表示します。楽楽モードではこの数値を設定します。数字=Kgではありません。

メインスイッチ
電動巻き上げのオン・オフスイッチです。

スピード表示

電動巻き上げのスピードを表示します。巻き取り動作を行っていないときは速度目盛りは表示されません。巻き取りを始めると、設定された楽楽モードの数値になると速くなったり遅くなったりしますので速度目盛りが変化します。

ここでは楽楽モードの設定に関するスイッチ、表示のみについてご紹介しています。

楽楽モードの設定方法

600Hの巻き上げ設定は全部で15段階設定できるようになっています。

設定値1～15の中で1におきましては速度一定モードが入っておりますので「スローなさそいをしたい!」という場合は1を使われると非常に便利です。

また、2～15は楽楽モードになっておりますので、魚とのやりとりには最適です。

テンション設定数値 対象魚別の目安

テンションの数値は、使用するハリスおよびシカケを考慮して設定してください。対象魚別の設定値は右記の一覧表を参考にしてください。

設定値はあくまで目安です。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
アジ		■													
マダイ			■												
ヒラメ				■											
イカ				■			■								
ワラサ							■			■					

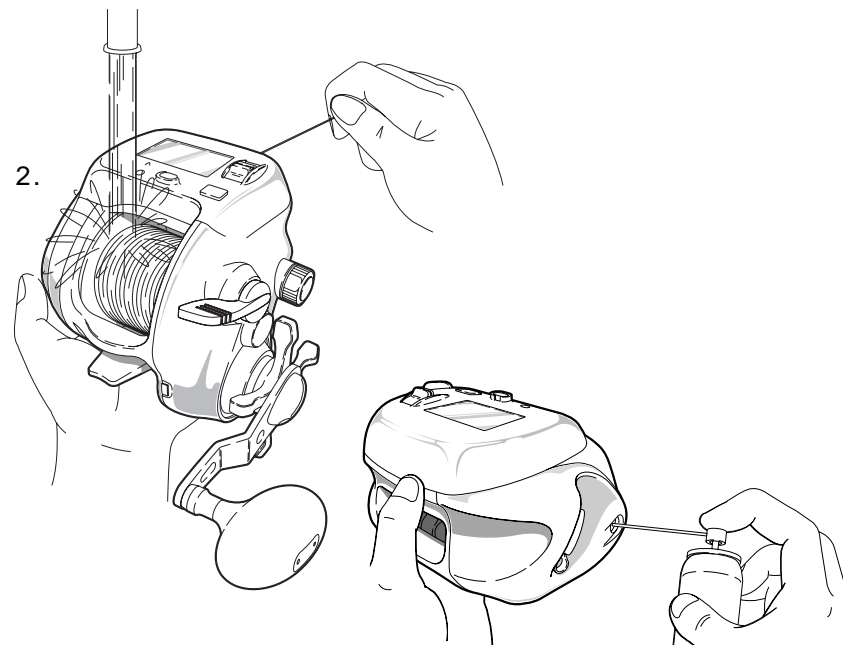
お取り扱い上の注意

電動丸は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 リールのお手入れ方法について

この電動丸600Hはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、ベアリングにオイルを注入できるシステムになっています。
用意するもの：リール・スポンジ・オイルスプレー（付属）

1. 水道水をリールにかけながら、スポンジで汚れを落とします。
水中に浸けて洗わないでください。
2. 水をかけて汚れを落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。（右図参照）これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 釣行2～3回おきに、右図のように左サイドプレート下の穴より付属のオイルスプレーを注入してください。
オイル注入後の保管によって、注入口等よりオイルが流れ出ることがありますのでオイル汚れにご注意ください。
4. 影干ししてよく乾燥させてください。



3. スプレーのノズルの先で注入口のボールを押しつけて差し込みます。

2 ご使用上の注意

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、できるだけ釣場に糸が残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げ投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

船の竿立てに収められる時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう、また、コードを折り曲げないようにご注意ください。

特にコードをリールと船べりの間にはさまないようにご注意ください。
偏光ガラスの種類によってカウンター液晶画面が見にくくなる場合があります。

3 お手入れの方法

コネクター部の腐食防止のために、リールを使用にならない時は防水キャップをしてください。

リールは絶対に分解しないでください。内部にはモーター、ブレーカーなどの電気部品が入っていますので故障の原因となります。

ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

4 電動丸600Hについて

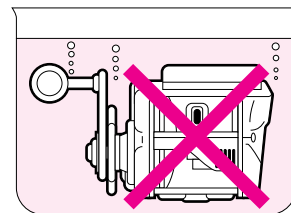
600Hにおきましては機能性の追求という事で、実釣時に不必要と思われるものを一切取り除いています。

アラームもその一つでスピーカーを取り除いております。

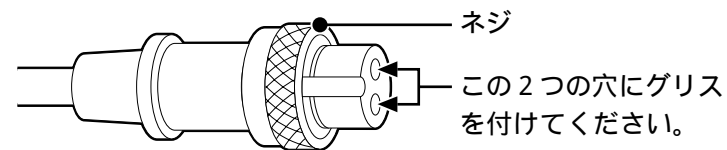
従って、アラーム音は一切鳴りませんのでご了承下さい。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。

(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)



お手持ちのリールを末永くご愛用いただけるよう特別のグリスを作成しました。下記の図のように電源コードの端子の2つの穴に付けていただくようお願いします。



セーフティ機能・仕様

1 セーフティ機能

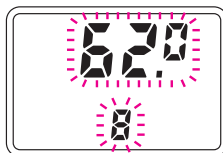
自動復帰ブレーカー

モーターに過負荷がかかった場合、モーターを保護するためにブレーカーが働きます。ブレーカーが作動した時は右図のように全表示が点滅します。

注意 この時、モーター保護のためモータースイッチをOFF・ONせずに5分以上休ませてください。点滅が点灯になればブレーカーは復帰です。

バッテリー検出表示

バッテリー電圧が10.5V以下になった場合、またはコード・コネクターの接触不良がおこると、バッテリーの絵文字が点灯します。



DC18V以上の時



2 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (N/kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) デュラPE使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	電動巻上速度 (m/分)	スプール (径mm/幅mm)	ベアリング (ボール/ローラ)
電動丸600H	RG160600	4.5 : 1	49/5.0	495	4-200 3-250	63	最高速140・中速120～低速10まで 14変速の合計15変速	45/32.6	2/1

標準付属品 コード、布袋、取扱説明書、分解図、グリス、糸通しピン、オイルスプレー、下巻きゲージ

ご注意 2号、3号を使用される場合は糸を巻きすぎたり、バックラッシュ等をしますと糸が細いため、スプールと本体枠のすき間に入り込んでしまう場合がありますので注意して下さい。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。
手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。
その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが働かない）お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社（フリーダイヤル）または釣具サービス課へお問い合わせください。

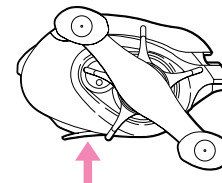
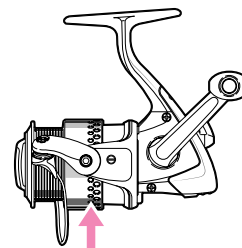
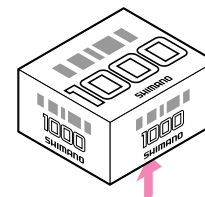
修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。（内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。）

例 / 製品名 : ステラFW1000S
製品コード : SC78B010
部品番号 : 2
部品名 : スプール

製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています。）



故障かな？と思われたときは

こんなとき	操作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が表示しない。	バッテリーと電源コードの（+）（-）とが正しく接続されているかをお確かめください。バッテリー容量が不足していないか、ご確認ください。	P.6
液晶が表示しない。（極寒で使用の場合）	液晶の特性上-15℃以下で放置されますと、電源をつないでもしばらくの間表示しません。（電源がONの状態になり、カウンター内部の基板が温まれば表示されます。） 極寒で 사용되는場合、船がポイントに着くまでは電動リールをキャビンに入れてもらうかカバーを付け、保護することをおすすめします。	
糸巻学習がセットされない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
カウンター表示と、糸の水深色分けとが一致しない。	糸の種類により、程度の差はありますが、使用中に糸が伸びることによりカウンターの表示との間にズレを生じる場合があります。	
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での0セットを行なってください。また、入力可能な船べりセットは、1m～6m未満の範囲です。0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定しています。	P.24～P.25 P.27
液晶表示はするがモーターが作動しない。	バッテリーの容量が十分かどうかご確認ください。 モーターが低速では作動するが、高速では作動しない場合もバッテリーの容量不足が考えられます。バッテリーを充電のうえ、ご確認ください。なお、充電しても正常に作動しない時は、バッテリーが古くなったことが考えられますので、新しいバッテリーと交換し、再度ご確認ください。	P.6
巻き上げ中にモーターが停止する。	電源コネクターのネジがしっかりと締め付けられているかご確認ください。 船電源の端子や、リールや電源コードのコネクター部分がサビしていると、通電不良を生じます。サビを落としてからもう一度ご確認ください。	P.6
メインスイッチを押し、指を離すとモーターが止まる。	船べり停止以後は、寸動動作でメインスイッチを押している間しかモーターは回りません。	P.3



以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買上になった小売店にて、修理カードに故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、シマノサービスセンターにお送りください。

安全上のご注意・サービスネット



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

警告

	<p>電動リールを使用されますと微弱な電波が発せられ、補聴器、ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与えます。</p> <p>特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目眩が起こる場合がございますので、本製品のご使用前に必ず当該各医用電気機器メーカー、もしくは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。</p> <p>糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがをするおそれがあります。</p> <p>ハンドルとボディーの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>バッテリー、船電源の所定電圧（12ボルト）以外を使用しないで下さい。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが発熱し、手をやけどするおそれがあります。</p>

注意

	<p>回転しているスプールには触れないで下さい。けがをするおそれがあります。</p>
	<p>電動リールは分解・改造等しないでください。故障や事故につながる原因となります。</p>

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所 〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21	TEL.(011)716-3301
株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10	TEL.(022)232-4775
株式会社シマノ 埼玉営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1	TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17	TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ 千葉営業所 〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11	TEL.(043)433-1780
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410-0807 静岡県沼津市錦町674	TEL.(055)962-3983
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21	TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒590-8577 大阪府堺市老松町3-77	TEL.(072)223-3920
株式会社シマノ 中国営業所 〒700-0941 岡山市青江6-6-18	TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1	TEL.(0875)23-2220
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6	TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ釣具事業部

本 社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130（ハローイイサオ）

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝祭日除く）

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL.(072)243-2851 / FAX.(072)243-2860

シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。

シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan 027



この説明書は再生紙を使用しています。

SHIMANO